

# 2017年6月期

## 決算説明会

2017年8月14日

---

株式会社ボルテージ

東証1部 証券コード 3639

# I 通期実績

## ■ 通期 業績概要



売上は前期比**21%減**、利益は**73%減**。

組織改革により様々な仕込みを実行してきたが、業績への寄与は来期以降の見込み。

[単位:百万円]

	今 期			前 期	
	通期累計	売上比	前期比	通期累計	売上比
売上高	8,820	100.0%	78.6%	11,219	100.0%
売上原価	3,898	44.2%	89.3%	4,364	38.9%
労務費	1,690	19.2%	87.3%	1,936	17.3%
外注費	1,138	12.9%	81.9%	1,390	12.4%
その他	1,068	12.1%	103.0%	1,037	9.2%
販管費	4,780	54.2%	75.6%	6,324	56.4%
広告宣伝費	555	6.3%	43.5%	1,277	11.4%
販売手数料	2,722	30.9%	80.0%	3,404	30.3%
その他	1,502	17.0%	91.5%	1,642	14.6%
営業利益	141	1.6%	26.6%	530	4.7%
経常利益	158	1.8%	32.5%	488	4.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24	0.3%	11.5%	210	1.9%

# 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書



## 貸借対照表

[単位:百万円]

	今期末	前期末	前期末比
流動資産	3,406	3,705	91.9%
固定資産	1,023	1,199	85.3%
<b>資産</b>	<b>4,429</b>	<b>4,905</b>	<b>90.3%</b>
流動負債	693	1,037	66.8%
固定負債	-	-	-
<b>負債</b>	<b>693</b>	<b>1,037</b>	<b>66.8%</b>
株主資本	3,715	3,868	96.0%
その他の包括利益累計額	20	0	-
新株予約権	-	-	-
<b>純資産</b>	<b>3,736</b>	<b>3,868</b>	<b>96.6%</b>
<b>負債純資産</b>	<b>4,429</b>	<b>4,905</b>	<b>90.3%</b>

## キャッシュ・フロー計算書

[単位:百万円]

	今期	前期
営業活動CF	241	920
投資活動CF	△206	△372
財務活動CF	△177	△69
現金及び現金同等物の増減額	△105	417
現金及び現金同等物の期末残高	2,132	2,237

主に売掛金及び現預金の減少

広告抑制等による未払費用の減少

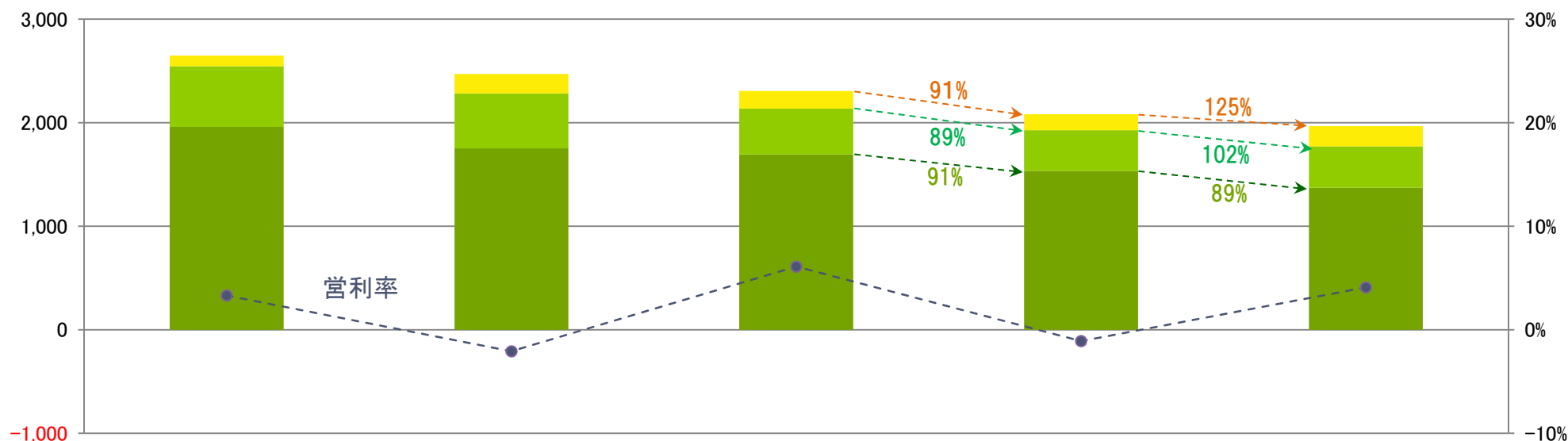
主に税金等調整前当期純利益の減少、及び売上債権の回収の減少

# ■ Q毎の売上推移 事業区分別



4Qは「DRAGONシリーズ」が堅調に推移するなど、「実験作」が前Q比で125%に拡大。一方、「基幹シリーズ」は、恋アップ「F2Pシリーズ」のOS系PF向けが不振など減少が続いた。

[単位:百万円]



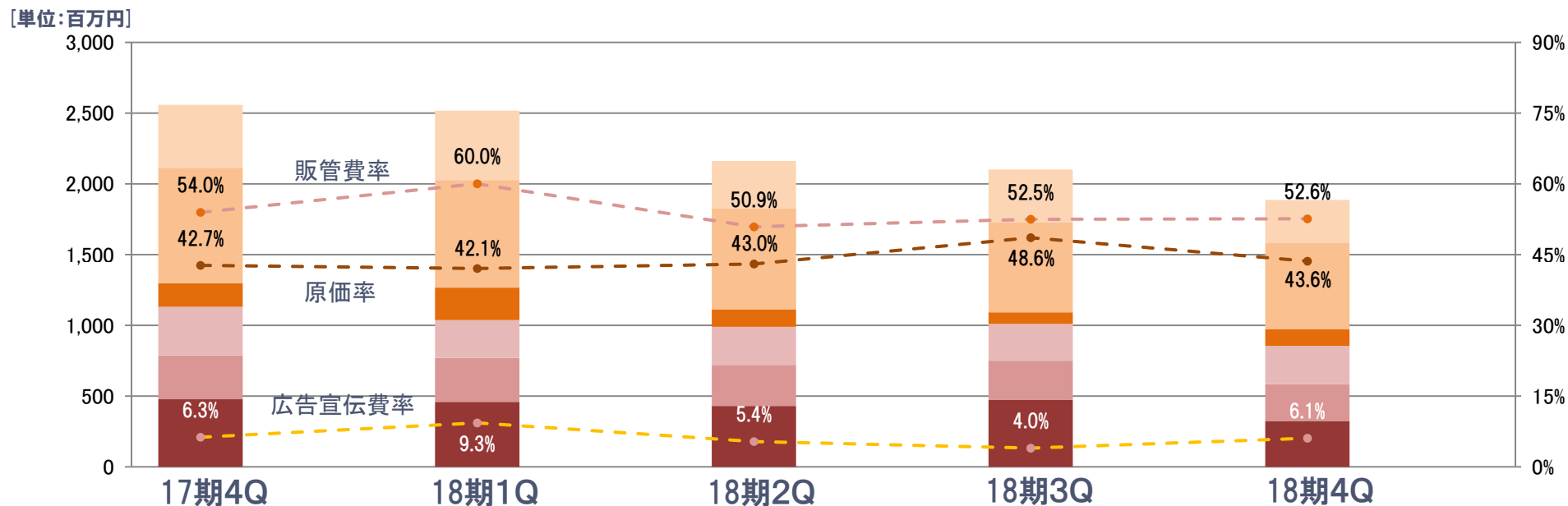
	17期4Q			18期1Q			18期2Q			18期3Q			18期4Q		
	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ
基幹シリーズ	1,958	88%		1,752	75%	89%	1,692	74%	97%	1,534	71%	91%	1,371	70%	89%
新シリーズ	586	122%		530	128%	91%	442	79%	83%	392	55%	89%	398	68%	102%
実験作・その他※	103	877%		187	1,151%	181%	170	847%	91%	154	553%	91%	193	188%	125%
全社	2,648	97%		2,469	89%	93%	2,305	80%	93%	2,081	71%	90%	1,963	74%	94%

※「その他」には、今期第2四半期連結会計期間にローンチした、新技術を用いたタイトルが含まれます

# ■ Q毎の経費・営利推移



広告宣伝費の抑制を中心に、経費を前期比74%まで圧縮。



	実績	YonY	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ
売上原価	1,131	108%	1,038	97%	92%	991	91%	95%	1,011	94%	102%	856	76%	85%
労務費	478	95%	459	91%	96%	430	89%	94%	475	102%	110%	324	68%	68%
外注費	310	91%	311	87%	100%	290	78%	93%	275	78%	95%	261	84%	95%
その他	343	170%	267	131%	78%	270	118%	101%	260	100%	96%	270	79%	104%
販管費	1,428	99%	1,482	83%	104%	1,173	78%	79%	1,092	68%	93%	1,032	72%	94%
広告宣伝費	166	75%	230	46%	138%	123	43%	54%	82	26%	67%	119	72%	144%
販売手数料	816	98%	760	89%	93%	712	84%	94%	638	72%	90%	611	75%	96%
その他	446	116%	491	113%	110%	337	94%	69%	371	93%	110%	302	68%	81%
経費合計	2,560	103%	2,521	88%	98%	2,165	84%	86%	2,104	78%	97%	1,888	74%	90%
営利	87	36%	△51	-	-	140	49%	-	△22	-	-	74	85%	-

# ■ Q毎の貸借対照表の推移



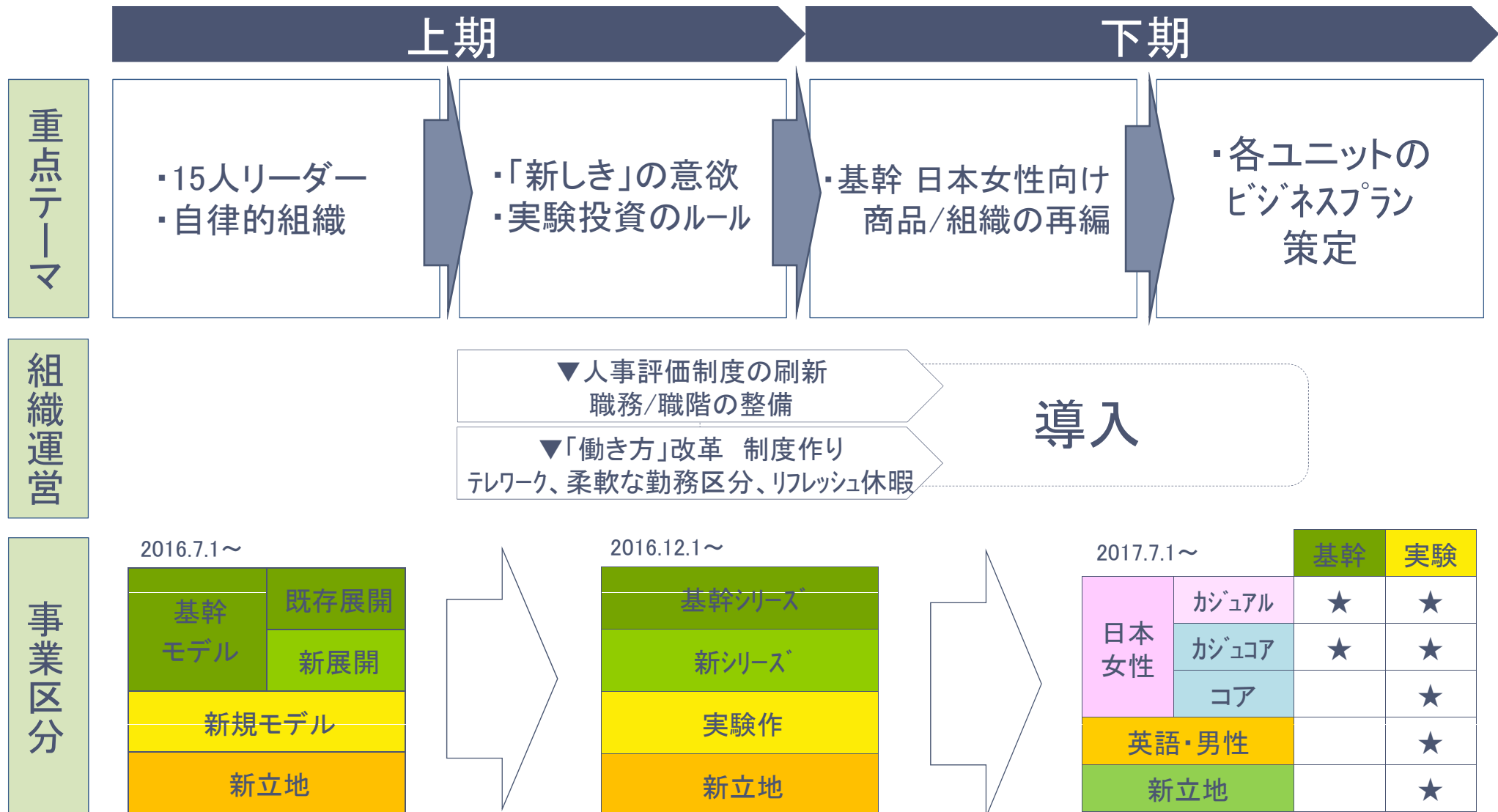
[単位:百万円]

	18期1Q末			18期2Q末			18期3Q末			18期4Q末		
	実績	前Q比 増減額	前Q比率	実績	前Q比 増減額	前Q比率	実績	前Q比 増減額	前Q比率	実績	前Q比 増減額	前Q比率
流動資産	3,464	△241	93%	3,517	53	102%	3,498	△19	99%	3,406	△92	97%
固定資産	1,203	3	100%	1,160	△42	96%	1,082	△78	93%	1,023	△59	95%
<b>資産</b>	<b>4,667</b>	<b>△237</b>	<b>95%</b>	<b>4,678</b>	<b>11</b>	<b>100%</b>	<b>4,581</b>	<b>△97</b>	<b>98%</b>	<b>4,429</b>	<b>△151</b>	<b>97%</b>
流動負債	1,038	1	100%	911	△127	88%	878	△32	96%	693	△185	79%
固定負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>負債</b>	<b>1,038</b>	<b>1</b>	<b>100%</b>	<b>911</b>	<b>△127</b>	<b>88%</b>	<b>878</b>	<b>△32</b>	<b>96%</b>	<b>693</b>	<b>△185</b>	<b>79%</b>
株主資本	3,633	△235	94%	3,736	102	103%	3,678	△57	98%	3,715	37	101%
その他 包括利益累計額	△4	—	—	31	—	—	23	△7	75%	20	△2	88%
新株予約権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>純資産</b>	<b>3,629</b>	<b>△238</b>	<b>94%</b>	<b>3,767</b>	<b>138</b>	<b>104%</b>	<b>3,702</b>	<b>△65</b>	<b>98%</b>	<b>3,736</b>	<b>34</b>	<b>101%</b>
<b>負債純資産</b>	<b>4,667</b>	<b>△237</b>	<b>95%</b>	<b>4,678</b>	<b>11</b>	<b>100%</b>	<b>4,581</b>	<b>△97</b>	<b>98%</b>	<b>4,429</b>	<b>△151</b>	<b>97%</b>

# 18期の振り返り 組織改革 Q毎の重点テーマ



18期は、大きな組織改革を行い、再び成長軌道に乗せる土台を作った





# ■ 4Qの取り組みと今後の予定

ターゲット	コンテンツ名		取り組みと今後の予定	区分
カジュアル		100恋+	6/1 ローンチ。 13タイトル、30キャラクター以上のストーリーを配信。	基幹シリーズ 恋アップ2P
		フェイク	4/18 iOS版ローンチ。 6月初イベント実施するも、KPIに課題あり。	新シリーズ シークドラマ
		ワタシドラマ	4/25 iOS版ローンチ。 6/19に3タイトル目「ワタシ改革」の体験版配信。	実験作 モーション
カジュアルコア		恋乱	「華の章」「月の章」合同で合戦イベント実施。 期間中ARPPU上昇。	基幹シリーズ 恋アップ2P
コア		アニドル	6/29にCD発売決定を告知。 8/1に事前登録者数が10万件突破。近日中に15万件突破見込み。	実験作 チームドラマ
英語		Lovestruck	6/15に6タイトル目「Starship Promise」のパイロット版配信開始。 3Q比で売上大幅に拡大。	実験作 DRAGON

# 18期のハイテク・IP展開

## VR

2016/9/15~18  
TGS出展

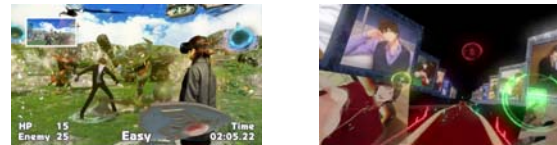


▲ 開始10分で整理券の配布が終了、60分以上のキャンセル待ちが発生するなど大好評。

2017/4/24~6/30  
イオンレイクタウン VR Center出展

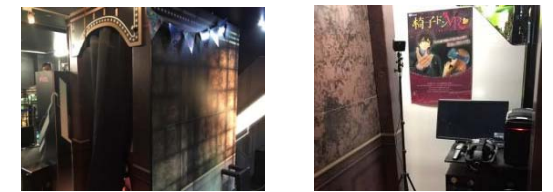


▲「椅子ドンVR」をアーケード展開。



▲ 他社VRゲームとのコラボも実施。

2017/6/23~7/31  
アトアーズVR PARK TOKYO出展



▲ ボルテージユーザー以外にも好評。

## グッズ

2016/11/5~6  
AGF初出展

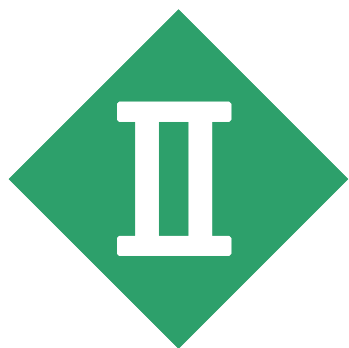


▲ アクリルキーホルダー、ブロマイドが好評。  
12/23~「アフター-AGF」にて一部グッズ再販。

2017/6/8~21  
ボルテージSHOP開催



▲ 平日にも関わらず、100名以上の行列ができた。

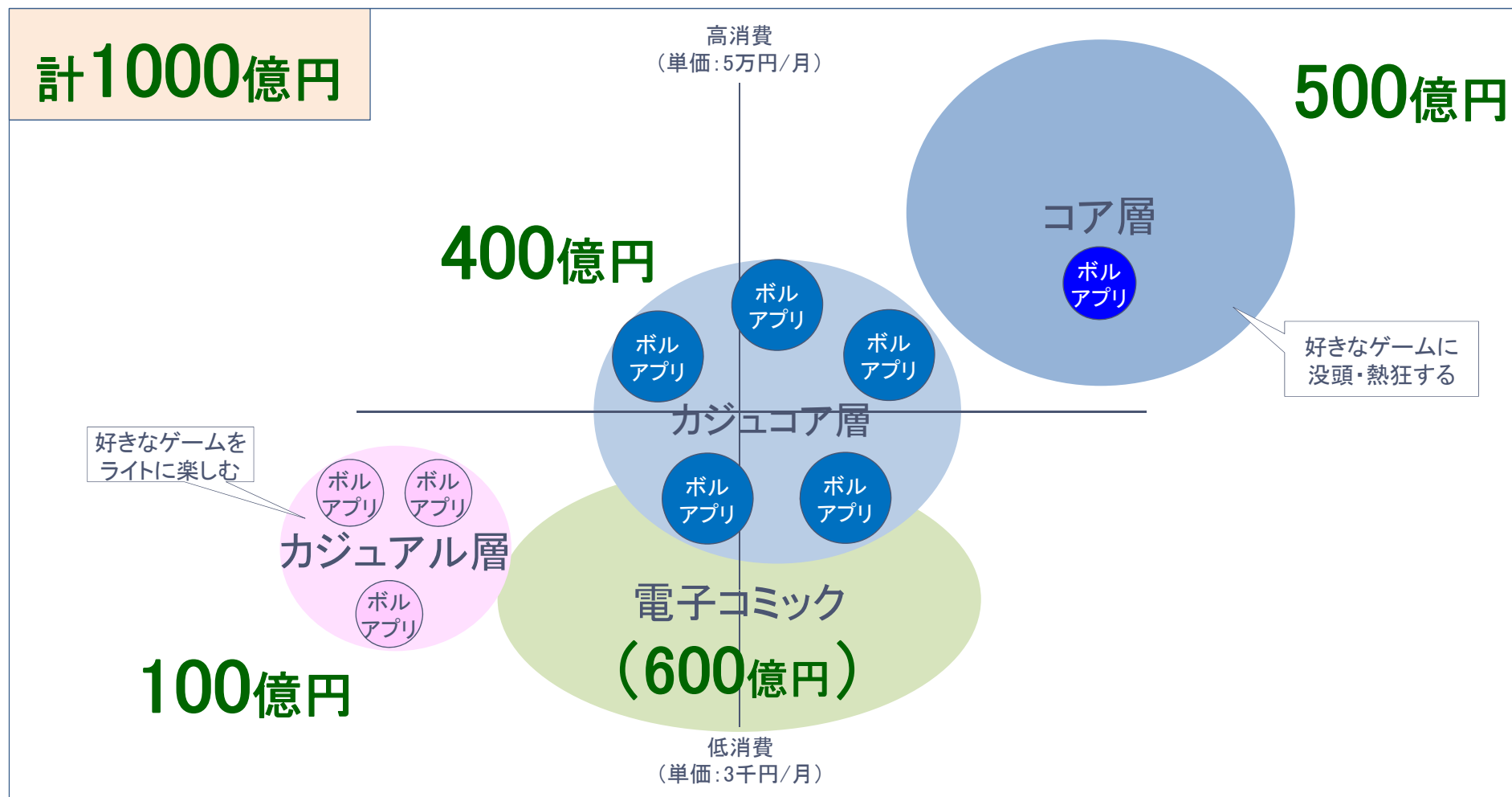


# 2018年6月期 以降の計画

# 3年戦略 ① 市場環境

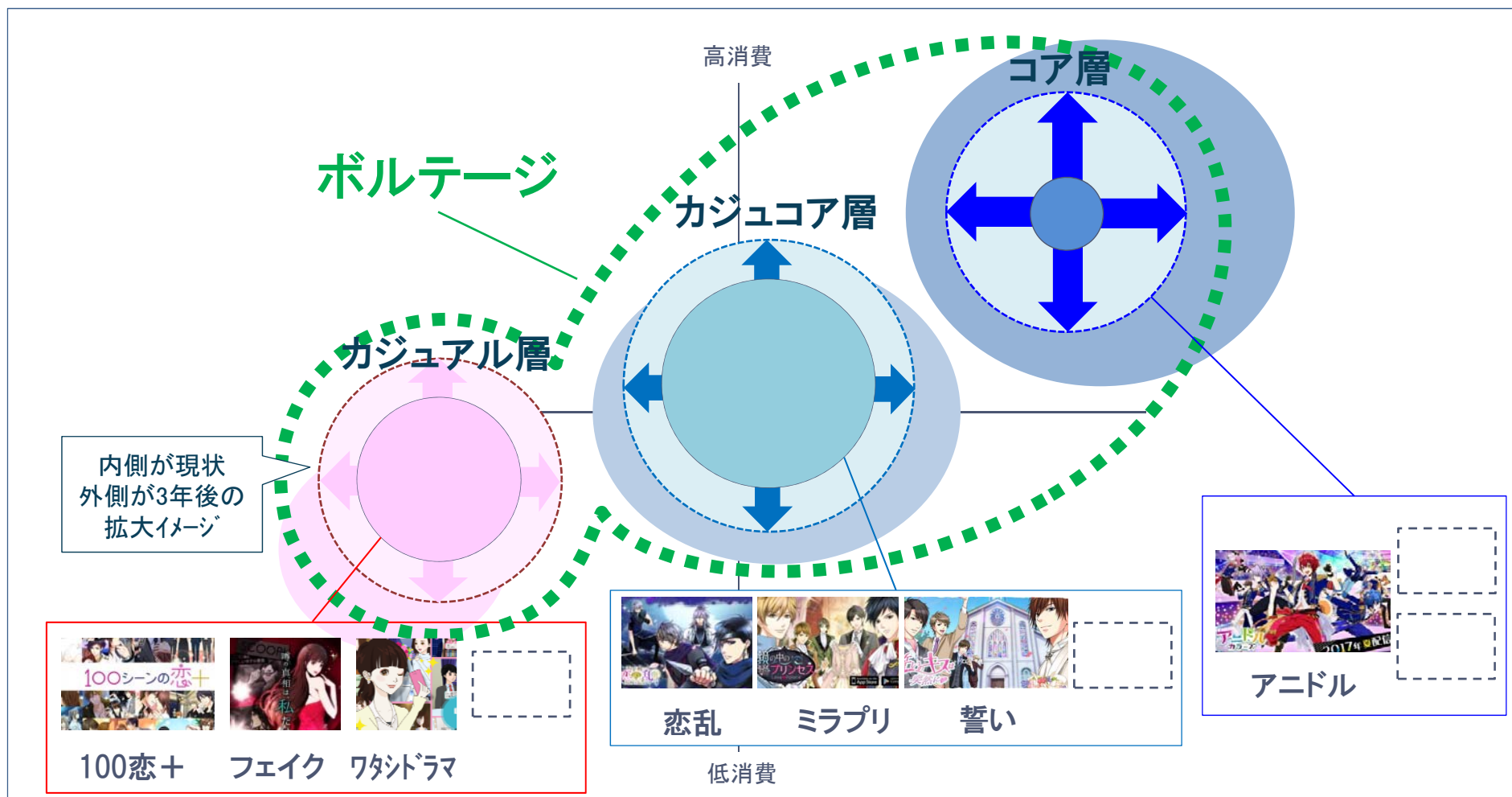
※2018年6月期は、3年戦略の2年目にあたります。

## 「オトナ女子×物語」アプリの市場規模は、1000億円(当社推定)



# ■ 3年戦略 ②基本戦略

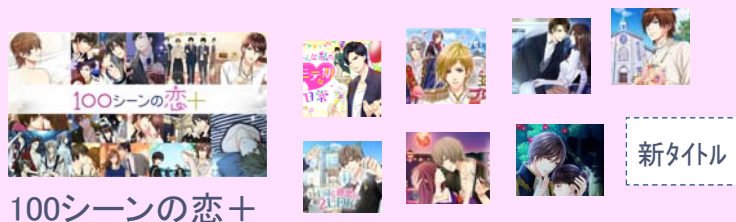
従来の「カジュアル/カジュコア」向けのみから、コア層を加え、「カジュアル」+「カジュコア/コア」の2輪展開へ。



## カジュアル向けは「読み物アプリ」展開、カジュコア/コア向けは「IP大展開」

### カジュアル向け

「読み物アプリ」で展開  
読み物アプリ内でストーリーを随時追加



### カジュコア/コア向け

「IP大展開」による拡大  
ヒットタイトルをグッズ・アニメに展開

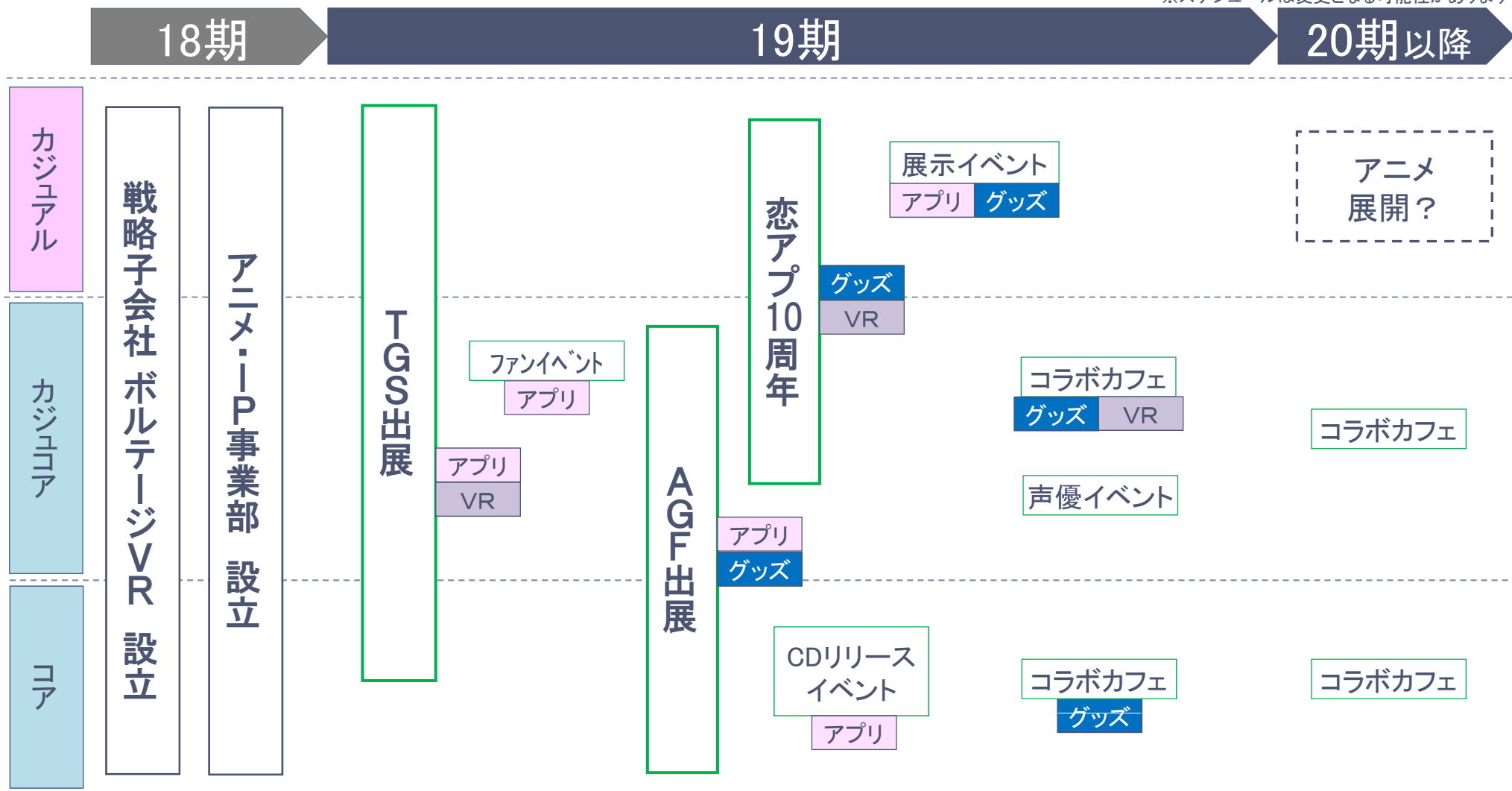


# ■ 3年戦略 ④ アニメ・グッズ・VR



## TGS、AGF、恋アプリ10周年イベントを中心に展開

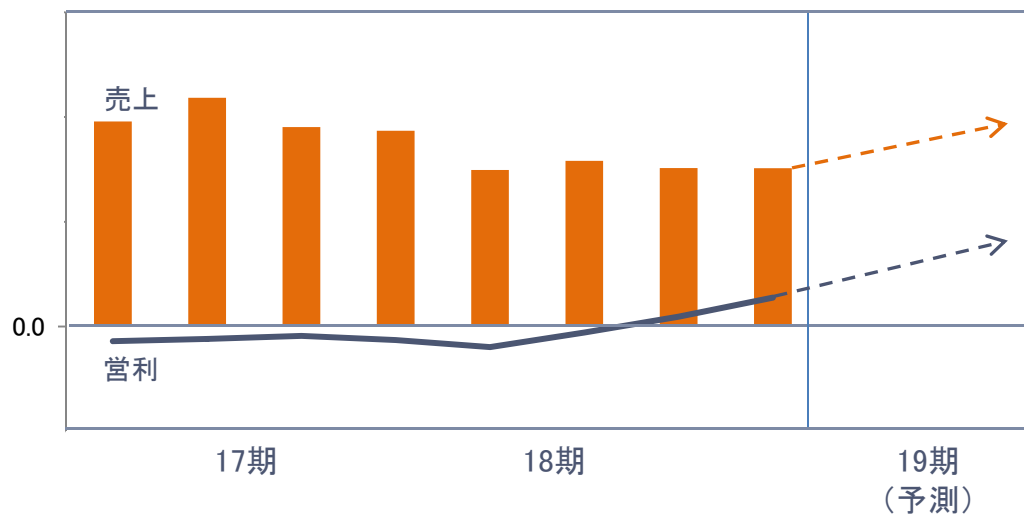
※スケジュールは変更となる可能性があります



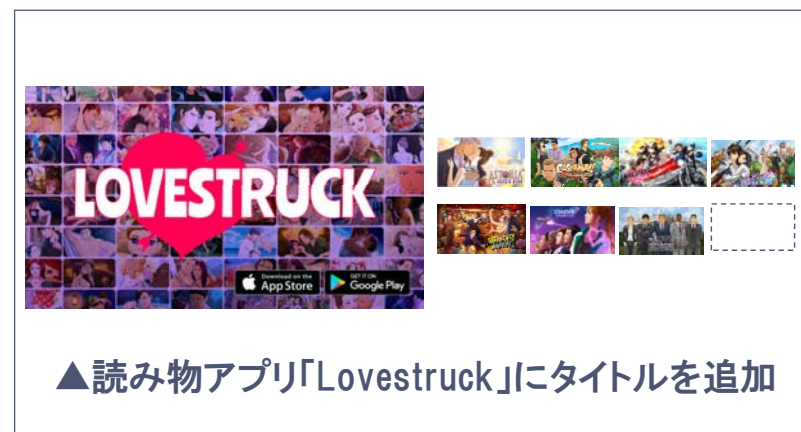
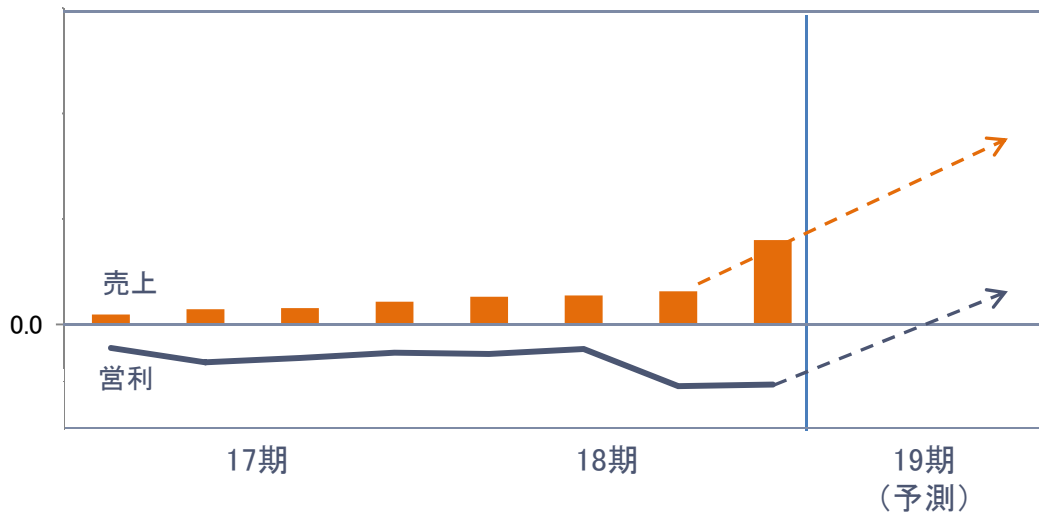
# ■ 3年戦略 ⑤ 英語

「L10N」は既に黒字基調。「DRAGON」も19期中に黒字化の見込み。

(恵比寿スタジオ)  
**L10N**



(SFスタジオ)  
**DRAGON**





# ■ 新規アプリ ローンチ予定



ターゲット	4月	2017年6月期 4Q	7月	2018年6月期 1Q	10月
カジュアル		<p>6/1済 恋アプリ2P 基幹シリーズ</p> <p>100シーンの恋+</p>	<p>6/1済 恋アプリ2P 基幹シリーズ</p> <p>こんな私のモテ期な日常</p>	<p>7/3済 恋アプリ2P 基幹シリーズ</p> <p>大正ロマン、運命の人</p>	<p>恋アプリ2P 基幹シリーズ</p> <p>100シーンの恋+</p> <p>略称:S</p>
カジュアルコア					
コア					<p>チームドラマ 実験作 日女</p> <p>アイドルカラーズ</p>
英語		<p>5/2済 実験作 英女 DRAGON</p> <p>Speakeasy Tonight</p> <p>LOVESTRUCK</p>	<p>6/15済 実験作 英女 DRAGON</p> <p>Starship Promise</p> <p>LOVESTRUCK</p>	<p>7/25済 実験作 英女 DRAGON</p> <p>To Love&amp;Protect</p> <p>LOVESTRUCK</p>	<p>実験作 英女 DRAGON</p> <p>LOVESTRUCK</p> <p>略称:H</p>
新立地		<p>4/10済 ハイテク AR</p> <p>ポケカレAR (キャラクター追加)</p>	<p>6/22済 ハイテク AR</p> <p>ポケカレAR (キャラクター・機能追加)</p>		

# ■ 19期業績予想



## 2018年6月期は売上100億、営業3億を見込む

[単位:百万円]

	連 結	
	通期	前期比
売上高	10,000	113.4%
営業利益	300	212.5%
経常利益	300	189.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	190	784.1%
1株当たり 当期純利益	36.55円	—

※ 1株当たり当期純利益は、2017年6月期末発行済株式数(5,197,774株)を基に算出しております

## ■ 株主還元（剰余金の配当）



当社配当の基本方針は、将来展開と体質強化のための内部留保の確保と、株主への利益還元のバランスを図っていくこととしております。具体的には、配当性向や安定性を考慮し、配当額を決定してまいります。

当期につきましては、前期比で親会社株主に帰属する当期純利益が88.5%減となる厳しい状況であるものの、来期は増収増益となる見込みであることと、配当の基本方針を重視し、期末配当について普通配当を1株当たり10円で予定しております。

	決定額 (2017年6月期)	前期実績 (2016年6月期)
基準日	2017年6月30日	2016年6月30日
1株あたり配当金	10円	15円
配当金総額	51,062,460円	77,933,130円
連結配当性向	210.7%	36.9%
効力発生日	2017年9月29日	2016年9月30日

※ 2017年6月期の配当は、2017年9月28日開催の定時株主総会において承認されることを前提として記載。

※ 2018年6月期の配当は、現在未定。上記の方針に従い、株主に対する適切な利益還元を検討する予定。

# 用語説明



用語	意味
OS系PF	App Store、Google Play等のアプリマーケット。
基幹シリーズ	恋愛ドラマアプリのうち、「F2Pシリーズ」と「P2Pシリーズ」として配信しているものが属する。
新シリーズ	ターゲット層や制作技術を基幹シリーズから派生させたシリーズ群。 2017年6月期は、「シークドラマシリーズ」「L10Nシリーズ」が該当する。
実験作	ターゲット層や制作技術が基幹シリーズ・新シリーズとは異なるシリーズ群。 2017年6月期は、「P2P DRAGONシリーズ」「F2P US REALシリーズ」「男性向けサスペンスシリーズ」「パズルアクションゲームシリーズ」「モーションシリーズ」が該当する。
新立地	ターゲット層も制作技術も基幹シリーズ・新シリーズとは異なる新しい取り組み。 2017年6月期は、VRやAR技術を用いる「ハイテク」、グッズや舞台などの「ライブ」分野に取り組んだ。
F2P	Free-to-Playの略称。基本プレイ無料・アイテム課金制のコンテンツ。
P2P	Pay-to-Playの略称。ストーリー単位の個別課金制のコンテンツ。
シークドラマ	ヒロインが証拠を集め、世の中の嘘や偽りを暴いていくストーリーシリーズ。
L10N	北米市場向けアニメ絵であり、日本語恋アプを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記。
DRAGON	北米市場向けアニメ絵であり、北米市場向けに作ったコンテンツ。 北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来。対ユーザー呼称AmeMix(アメミックス)。
モーション	株式会社ボルモが開発するモーションタイプのコンテンツ。 2017年6月期第1四半期より、呼称をアニメーションから変更。
チームドラマ	ユーザーが主人公となりキャラクターとの恋愛を楽しむ恋愛ドラマアプリと異なり、 キャラクター同士で展開するストーリーを楽しむコンテンツ。

## ■ 参考資料(会社概要)

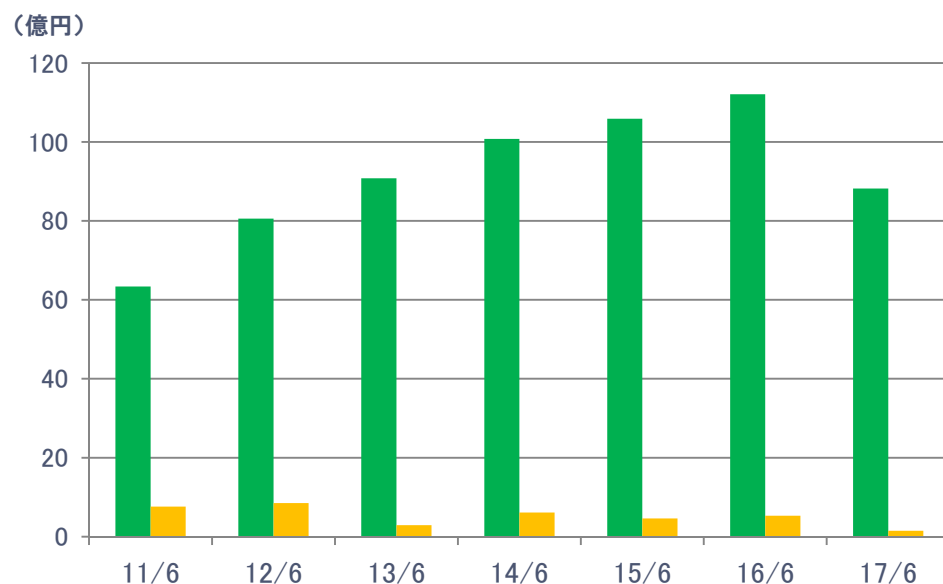


社名	株式会社ボルテージ
代表取締役社長	津谷祐司
経営理念	アート&ビジネス
設立	1999年9月
上場日	東証1部 :2011年6月 東証マザーズ :2010年6月
資本金	936百万円(2017年6月末時点)
従業員数	462名(2017年6月末時点)
子会社	海外:Voltage Entertainment USA ,Inc. 国内:(株)ボルモ、(株)ボルスタ、(株)ボルテージVR

# ■ 参考資料(財務ハイライト、株式の状況)



## ・直近の売上高・営業利益の推移



## ・株式の状況(2017年6月末時点)

発行可能株式総数	15,120,000株
発行済株式数	5,197,774株
株主数(単元のみ)	3,757名

## ・大株主の状況(2017年6月末時点)

株主名	株式数(株)	所有割合(%)
津谷 祐司	967,800	18.95%
津谷 奈々子	368,200	7.21%
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	200,000	3.92%
株式会社SBI証券	193,800	3.80%
神林 忠弘	131,700	2.58%
松井証券株式会社	116,400	2.28%
日本証券金融株式会社	109,700	2.15%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	107,340	2.10%
CHASE MANHATTAN BANKGTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	102,154	2.00%
株式会社サードストリート	100,000	1.96%

# 株式会社ボルテージ



- ・本資料には将来の予測に関する記述が含まれておりますが、それらの記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化等により、実際の業績とは異なる可能性がありますことを御承知おき願います。
- ・本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。
- ・本資料で記載されている会社名・商品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。